

ANOR ニュースレター By JORA No. 3 (2003.12) 要旨

1. 行事と活動

(1) バイオマス シンポジウムが、農林水産省各地方農政局と JORA の共催で、2003 年の 11 月から 2004 年の 1 月にかけて、全国の 9 都市で行われた。

このシンポジウムの目的は、2002 年 12 月 27 日に閣議決定された、バイオマス国家戦略の必要性に関する情報を国民に提供する事である。

何処のシンポジウムも、熱心な多くの方々に参加頂き、感謝している。

(2) 第 4 回農林水産環境展が 2003 年 11 月 25 日から 28 日にかけて、千葉の幕張で開催され、JORA は活動状況報告の為ブースを開くと共に、

11 月 26 日フォーラムを開催し、3 年間に及ぶ技術委員会の調査研究の結果である出版物の内容紹介を行った。

出版物の題名は、欧米諸国と我が国における有機資源の農緑地利用に関する規制・基準、コンポスト化マニュアル、コンポスト化施設の環境対策、木質系 MRS の現状と課題、バイオガスシステムの現状と課題、有機性廃棄物の炭化技術及び有機性資源の餌・飼料化の現状と課題である。

(3) JORA は農林水産省の後援で、同省の食堂でバイオマス由来の食器の展示と実用実験を行っており、12 月 10 日 NHK で放映された。

(4) 有機性廃棄物循環利用に関する国際シンポジウムが、秋田県立大学、JORA 共催で、2004 年 10 月 5 - 7 日秋田市で開催される。

本シンポジウムの実行委員長は秋田県立大学教授、ANOR の運営委員長の茅野博士である。

茅野博士、JORA は ANOR メンバーの口頭発表への積極的参加を希望している。

(www.jora.jp/ISOR2004/txt/eng.html 参照)

2. バイオマス国家戦略の概要 (翻訳省略)

(www.maff.go.jp/biomass/eng/biomass.honbun.html 参照)

3. 日本の森林の状態 (翻訳省略) (www.japanfs.org/en/newsletter/200311.html 参照)